

第13回

「元気が出る森松展」

『プラスチックの進化』

～私達は大地の恵みを忘れない～

日 時:平成17年10月14日(金) 9:00～17:00
15日(土) 9:00～17:00

場 所:森松株式会社 本社5Fホール

※上記時間帯以外にご来場の方は担当営業マンまでご連絡下さい。ご案内させていただきます。

講演会

14:00～14:30

～ポリ乳酸のゲル及び可塑化フィルムの開発～

講師:愛知産業技術研究所 基盤技術部 福田徳生氏

10月14日(金)

14:30～15:00

～木質系材料を用いた自己接着成形体の開発～

講師:愛知産業技術研究所 基盤技術部 高橋勤子氏

出展企業

アキレス(株)・出光ユニテック(株)・(株)エヌ・ビー・シー・オカモト(株)・(株)カツロン・カンボウプラス(株)・(株)コーハン・サンビック(株)・シーダム(株)・シーアイ化成・四川義信公司・(株)生産日本社・積水成型工業(株)・龍田化学(株)・(株)トーワ・日本ウェーブブロック(株)・丸喜化学工業(株)・三菱化学MK V(株)・明和グラビア(株)・菱興プラスチック(株)・エコデザイン・エドカ工業(株)・金子商店・コダカ産業(株)・三協化成(株)・大同紙工印刷(株)・ダイニック(株)・(株)トラスト・(株)プラスコーポレーション・三菱商事(株)

(敬称は略させていただきます)

森松展実行委員長:安井浩二 副委員長:伊東郁二

『手書きの効用』

社長 森 直樹



はがきを書くことがあります。主にお礼状として、月に数通程度ですが自筆で書いております。すっかり機会が減ってきた「書く」ということ、重要なのは字のキレイ汚いではありません。私の字も汚いですが、書くことにより気持ちに字に表れるので、電話で伝える、あるいは電子メールを送信するのと比較すると、受け取る側は何倍も嬉しいですし、またその内容も伝わり易いのではないのでしょうか。

電子メールが一般的になった昨今、はがきを書くという事は文面を書く、住所を書く、切手を貼る、投函する、と何倍もの手間が掛かる行為です。ましてお礼状ならば出来る限り早く投函しなければ、その意味合いも薄まってしまいます。しかしそこでやはり画一化された書体のメールではなく、書く人によって異なる手書きの書体を見ると、言葉で書かれていること以上の情報が伝わります。メールだけのやり取りでは、誤解が多いというのまた、その意味合いがすべて同じ書体で伝えられるということが原因の一つかもしれません。手書き文字の効用は、例えば年賀状を受け取る側の気持ちとして、全てキレイに印刷されたものよりも、何か一言でも手書きの言葉があれば、その印象が大きく違うことを感じることも判ると思います。

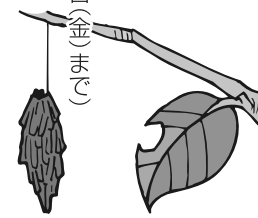
現在は仕事や生活の中で、手書きで伝える機会が減った分作業効率が良くなり、反面生活の中では人間らしい意思の疎通が妨げられているように感じます。私は今後、はがきを書くことを継続していきたいと思っております。

naoki@morimatsu.net

2005年
10月

の予定

29日(土)	第五土曜休み
26日(水)	産業テクノフロンティア展 吹上振興会館(28日(金)まで)
25日(火)	編集会議 18時～
	生産会議 18時～
	営業会議 15時30分～
24日(月)	経営会議 7時30分～
	加藤 雅昭さん誕生日
23日(日)	竹内 治子さん誕生日
22日(土)	第四土曜休み
18日(火)	ビール組合全国連合会総会 13時～20時
15日(土)	第13回 元気が出る森松展 9時～17時
14日(金)	第13回 元気が出る森松展 9時～17時
12日(水)	上海出張所 倪さん 来日(～11月30日まで)
11日(火)	誕生日会(9・10月合同)
10日(月)	体育の日
8日(土)	第二土曜休み
6日(木)	中文役員会 17時20分～19時
4日(火)	三協化成産業組合役員会 14時30分～16時30分
2日(土)	第一土曜休み



永年会主催 ハゼ釣り

松井宣和(マルサン工房)



日時
9月11日
日曜日

場所
福井県
敦賀港

天候
曇り



今年も永年会釣りが行なわれました。当日の天気予報では雨が心配されましたが、参加者10名の気迫に雨も降らず大会が行なうことができました。

昨年、好評だったハゼのから揚げも食べることができてよかったです。Mさんはハゼを70匹釣ったと、豪語していました。もう1人のMくんはその話が実際はどうか分かりませんが来年は数ではなくハゼの大きさで、ぜひ勝負と言っていました。また別のMさんは、ビールを片手に赤い顔をして釣りを楽しんでいました。ハゼつり初参加のまた別のMさんは釣り好きでもくしゃみばかりで、釣りに集中できていないようで大変そうでした。



『たばこ』

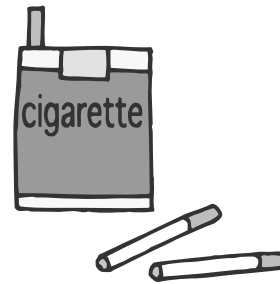
坪井芳治(マルサン工房)



私、高血圧で通院していますが、行く度にたばこを減らすように言われます。しかし、中々減らす事ができません。足を骨折した時、20日間ほど止まりましたが、病院内に喫煙所が設置してあり、また吸うようになり入院中吸う本数は減りましたが、退院したら本数が増えてしまいました(1日30本)。

健康上良くないと思っても吸ってしまいます。これからは吸う本数を減らすよう努力していきます。たばこを吸う皆さんも、健康上良くない事を知って吸っていると思えますが、本数を減らす事を考えてはどうですか？

私は、病気になるなら限り止められないと思います。健康には気を付けていきます。



『衆院選挙』

村田恒夫(ウルトラセブン)



衆院選挙は自民党が単独過半数を大きく上回って圧勝した。今回の選挙戦は、小泉首相の人気(改革賛成)投票のよう

選挙の2日後には、通常国会で郵政民営化法案に反対した参院議員は、特別国会に再提出する郵政法案について「明確な国民の意思を重く受け止める」として

今回の選挙は、どんな結末になるのだろうか!?と非常に興味をもっていましたが、選挙結果も、選挙後の流れ(反対派が賛成に)

(注)ホリエモンは次回の選挙に出馬するのかな?

『挨拶』

西垣浩司(マルサン工房)



週末に万博へ再度行こうと計画を立て、新聞等の情報を確認した際に人・人・人の混雑で計画を断念のん

山頂パーキングから山頂への道のり(3コーズ)の際、すれ違う人から挨拶をされ、子供達は最初「知っている人なの」と問い掛けられました。山での

天候は曇りでしたが心は曇りのち晴れでした。家族サービスのつもりで出掛けた事が自分自身への心の切り替わりチャンスのように感じました。

『脳年齢』

安井浩二(ウルトラセブン)



「脳を鍛える大人のDSトレーニング」って知っていますか? ニンテンドーDSの文字認識、音声認識を活用した、東北大学 川島教授が監修の脳機能活性化トレーニング用のゲームソフトです。

脳に蓄えられた知識をうまく活用したり、現実をうまく処理したりする「本当の頭のよさ」とは「前頭前野」をうまく使えるかどうかにかかっているようで、それを鍛える方法としては「読み・書き・計算」を行い、さらに計算では、より早く、読みでは

最近ではパソコンの普及により特に「書く・計算」という動作が減っているかもしれないですね。物忘れが多くなった。言いたい言葉がなかなか出てこない...。と思いがたる人は、一度、このゲームを試してみたらいかがでしょうか?

パートさんコーナー

健康に気をつけましょう



竹内治子(製造部)

視力は良かった私でしたが、二年程前、眼病、網膜剥離にかかり、その時はレーザー治療で処置できたのですが、また今年の五月に網膜剥離、硝子体出血で入院、手術を受けました。

いろいろな検査の結果、硝子体に小さな穴があき、そこから内出血していたのです。

このまま失明するのではないかとと思うと、あれこれ考え、眼れぬ夜を過ごしたこともありました。手術は局所麻酔で一時間ちょっとくらいで終わりましたが、眼に注射をした時は恐怖で体はコチコチに固まってしまい痛さはさほど感じませんでした。

手術後、三日目くらいで少し見えた時は、ほっとしました。

同じ病棟には、白内障、緑内障、糖尿病でほとんど視力を失った人など様々でした。

私も二週間の入院予定のほぼ半分で退院でき、時々調子の悪い時もありますが、定期検診を受けながら仕事もできるようになりました。今は健康の大切さ、ありがたさをつくづく感じます。

人は加齢と共に、眼も耳も歯も、足腰や、内臓も衰え、どこが悪くても困ります。日々の生活に気をつけたいと思っています。

皆様も、体調に異変を感じたら早めの検診をおすすめします。

『EXPO 16NOON』

伊藤雅典(マルサン工房)



大阪万博を知っている我々としては、どうしても今回の愛・地球博を比較して見てしまいがちです。大阪万博の時は、私もまだ若く中学生でした。何も知らない感受性の高い年頃でしたので、見るものすべてに感動し、まるで夢の世界へでも来たような気分でした。

時代背景として、またアメリカとソ連が冷戦時代でもあったため、両国とも自国の優位性をアピールしようとかかなり力が入っていたと思います。そのおかげで毎日長蛇の列。数時間待ちだったと思います。遠方から来た我々はその列を見ただけで、そういえば大阪万博は各パビリオンの建物を見るだけでも感激していました。

また、そのころはあまり外国人女性を見たことがなく、外国パビリオンのコンパニオンの女性を、目を皿のようにして見ていた覚えがあります。皆きれいな人ばかりでしたが、特に「ニュージランド館のコンパニオンの女性がきれいでした。見学時間も少ないため、非常に名残惜しい気持ちで会場を去りましたが、帰りがけに見たスイス館の光の木が一番心に残っています。

今回の愛・地球博の会場は、自宅に近いことや、全期間入場券を会社が全社員にくれましたので、満足いくまで雰囲気味わうことが出来ました。私的にはトヨタ館や日立館も良かったです。皆さんはいろいろな思い出を愛・地球博にて作られたと思います。どのパビリオンが、番こころに残りましたか。